令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について（ＫＳ２７）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和６０年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で１８回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和８年１０月１９日（月）から１０月２９日（木）までの間（本実施期間の前後 約１週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦

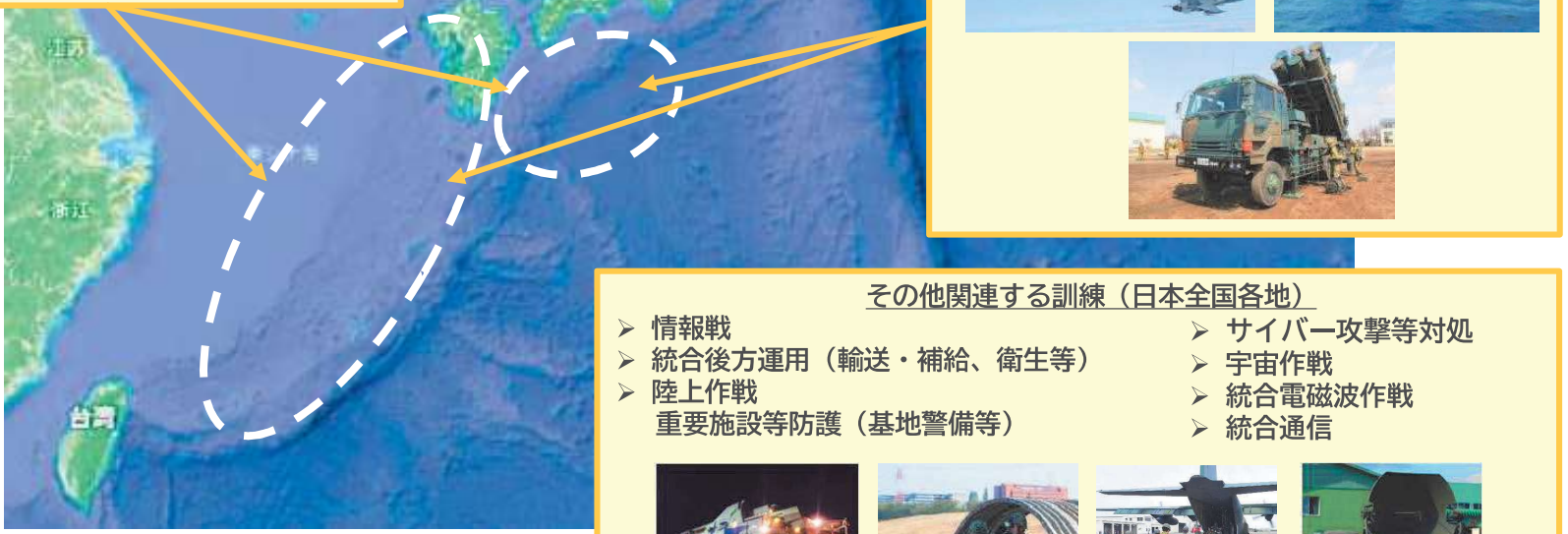



空挺作戦




海上作戦





統合防空ミサイル防衛






共同統合対艦戦闘




その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
  重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信






令和８年度日米共同統合演習（実動演習）の
北海道内における訓練について

本演習において北海道内で実施する訓練は、

① 統合防空ミサイル防衛（戦闘機部隊／高射部隊の機動展開訓練）
② 統合電磁波作戦訓練
③ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）
④ 重要施設等防護（滑走路（被害）復旧）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

北海道内で実施を検討している訓練内容
③　統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

海上自衛隊の護衛艦等が民間港湾に寄港し、現地で燃料、糧食等を補給する訓練を実施します。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～１０月２９日（木）　【うち、２～３日間】
【参加部隊】海上自衛隊：掃海艇１隻

訓練予定場所



訓練イメージ

